

RBB TODAYオリジナルSIM用語集

用語	説明
物理SIMカード	スマホに差し込んで使う小さなICカードのSIMです。契約者のID番号や電話番号などが記録されており、これを入れると電話やデータ通信が利用できます ¹ 。
eSIM	スマホ本体に内蔵された埋め込み型のSIMです。SIMカードを挿さずに、ネット経由で契約情報を書き込み開通できます。店舗に行かなくても短時間で開通できるメリットがあります ² 。
SIMロック	特定の携帯会社のSIMカードしか使えないようスマホにかけられた制限です。他社のSIMを入れても通信できなくなります。2021年以降、日本では新品端末へのSIMロック設定が原則禁止されています ³ 。
SIMフリー	SIMロックがかかっていないスマホのことです。どの会社のSIMカードでも差し替えて利用でき、乗り換えが簡単になります。近年販売される端末の多くは初めからSIMフリーで提供されています。
SIMロック解除	スマホのSIMロックを外す手続きです。解除すると現在のスマホに他社のSIMカードを挿して使えるようになります。2023年10月以降は全キャリアで手数料無料で即時にSIMロック解除が可能です ⁴ 。
標準SIM（ミニSIM）	25×15mmサイズのSIMカードです。古い世代のスマホで使われましたが、現在はさらに小さいmicroSIMやnanoSIMが主流です ⁵ 。現在このサイズのSIMカードはほとんど使われていません。
マイクロSIM	15×12mmサイズのSIMカードです。標準SIMより一回り小さく、2010年前後のスマホで広く使われました ⁶ 。例えばNTTドコモで使われたminiUIMカードはこのmicroSIMサイズです。
ナノSIM	12.3×8.8mmほどの最も小さいSIMカードです。現在のほとんどのスマホはこのサイズを採用しており、指先ほどの大きさです ⁷ 。nanoSIMは現行の標準SIM規格となっています。
MNO（移動体通信事業者）	自社で携帯電話の通信回線や基地局を持つ大手携帯会社のことです。総務省から周波数割当を受けており、NTTドコモ・KDDI（au）・ソフトバンク・楽天モバイルの4社が該当します ⁸ 。
MVNO（仮想移動体通信事業者）	自前の回線網を持たず、MNOから通信回線を借りてサービスを提供する携帯会社です ⁹ 。自社設備を持たない分料金が安く、提供されるSIMは「格安SIM」と呼ばれます ¹⁰ 。
格安SIM	大手キャリアより安い料金で使えるSIMサービスの総称です。通信容量を抑えたりサービスを簡素にすることで料金を安く提供しており、多くはMVNOによって販売されています ¹⁰ 。
キャリア（携帯電話会社）	携帯電話の通信サービスを提供する会社のことです。特にドコモ・au・ソフトバンクなどMNO各社を指し、「大手キャリア」とも呼ばれます。格安SIMを提供するMVNO事業者は通常キャリアに含まれません。
サブブランド	大手キャリアが展開する安価なサブブランド（第二ブランド）のことです。例としてソフトバンクのY!mobileやKDDIのUQ mobileがあり、親会社の回線網を使いながら安い料金プランを提供します。

用語	説明
音声通話SIM (音声SIM)	音声通話とデータ通信の両方が使えるSIMカードです。電話番号が割り当てられ、090/080など従来通りの通話が可能で、データ通信も利用できます ¹¹ 。大手キャリア契約のスマホと同様に利用できます。
データSIM	データ通信のみ利用できるSIMカードです。音声通話ができず電話番号もありませんが、インターネット接続は可能です ¹² 。タブレットやモバイルWi-Fiルーター向けによく使われます。
SMS機能付きSIM	SMS（ショートメッセージサービス）が使えるデータ通信専用SIMです。音声通話はできませんが、電話番号宛にSMSを送受信できるため、認証コード受信などに便利です ¹³ 。SMSオプション料金は月数十円程度です。
プリペイドSIM	利用分の料金をあらかじめ前払いして使うタイプのSIMです。一定のデータ容量や有効期間が設定された使い切り型で、契約や審査なしで購入後すぐ利用できます ¹⁴ 。短期利用や旅行向けに適しています。
デュアルSIM	1台のスマホで2枚のSIM（またはeSIM）を利用できる機能や端末です。例えば仕事用とプライベート用で2つの電話番号を1つのスマホに入れて使い分けことができます。
本人確認	SIM契約時に契約者の氏名・住所等を確認することです。利用者が誰かを特定する法律上の義務で、運転免許証やマイナンバーカードなどの身分証を提出して行います（不正利用防止のため）。
eKYC（オンライン本人確認）	インターネット上で完結する本人確認手続きです。スマホのカメラで顔と身分証を撮影したり、ICチップを読み取ることで、店舗に行かず契約者の確認ができます。
契約事務手数料	新しくSIMを契約する際にかかる事務手続き費用です（SIMカード発行料とも呼ばれる）。ショップやオンラインでの契約時に発生し、相場は税込3,300円程度とされています。
開通手続き（回線切替）	SIMカードを受け取った後に通信サービスを使えるようにする処理です。特に他社からMNP転入する場合、新しいSIMが届いたらWebや電話で回線を切り替えて開通させます。
契約期間	SIMのサービスを利用する契約の期間です。以前は2年契約が一般的でしたが、現在は多くのプランで契約期間の定めがなく、いつでも解約できます（いわゆる「〇年縛り」の撤廃）。
解約	SIM契約を終了してサービス利用を停止することです。解約の際は携帯会社で手続きが必要で、手続き後はSIMカードが無効化されます。同じ電話番号は解約後再利用できません。
解約違約金	定められた契約期間内に解約した際に発生するペナルティ料金です。かつては1万円前後の違約金が課されましたが、現在は法規制により大幅に緩和され、多くのプランで違約金なしで解約できます。
MNP（モバイル番号ポータビリティ）	携帯電話番号ポータビリティの略です。電話番号を変えずに他社へ乗り換えできる制度で、現在使っている番号のまま新しい携帯会社のサービスを利用できます ¹⁵ 。
MNP予約番号	MNP転出時に現在の携帯会社から発行してもらう番号です。この予約番号を乗り換え先の携帯会社に伝えることで、電話番号を引き継いだ契約手続きができます。予約番号には発行日を含めて15日程度の有効期限があるため注意が必要です。

用語	説明
SIM再発行	紛失や機種変更などで新しいSIMカードを発行することです。旧SIMは無効化され、新しいSIMが割り当てられます。再発行には手数料がかかる場合があります。
利用停止	紛失・盗難時などに一時的に通信サービスを止めることです。携帯会社に連絡して利用中断措置をとることで、不正利用や高額請求を防止できます。停止後に再開することも可能です。
音声通話	電話回線を使った音声の通話サービスです。スマホで相手の電話番号に発信し、会話できます。従来からある電話の機能で、通話料やかけ放題オプションが別途発生します。
SMS（ショートメッセージサービス）	携帯電話番号あてに短い文字メッセージを送受信できるサービスです。インターネットを使わず電話回線で送るため、電波があれば利用できます ¹⁶ 。全角70文字程度までのメッセージを送れます。
キャリアメール	携帯キャリアから提供されるメールアドレス（例：○○@docomo.ne.jp）のことです。迷惑メールフィルターが強力ですが、キャリアを乗り換えると使えなくなる点に注意が必要です。
かけ放題	通話定額サービスの俗称で、月額料金で音声通話が使い放題になるオプションです。プランによっては5分以内の通話無料や、国内通話時間無制限などの種類があります。
テザリング	スマホをモバイルWi-Fiルーターのように使い、他のパソコンやゲーム機などをインターネットに接続する機能です。追加料金不要で利用できる場合が多く、外出先でノートPCをネットに繋ぐ際などに便利です。
国際ローミング	海外渡航時に、現地の提携ネットワークを使って日本のSIMのまま通信・通話を行うことです。現地SIMを買わずに済みますが、料金は滞り国や契約プランによって高額になることがあるため注意が必要です。
データ容量（通信容量）	契約プランで利用できるデータ通信の量（上限）です。例えば「月3GB」のプランなら、1ヶ月に3GB分までデータ通信が可能という意味です ¹⁷ 。容量の単位はGB（ギガバイト）で表され、俗に「ギガ」とも呼ばれます。
データ通信量	実際にデータ通信で送受信したデータの総量です。ウェブ閲覧や動画視聴などで増加し、月間の通信量が契約上限を超えると速度制限される場合があります ¹⁸ 。スマホの設定画面や利用明細で確認できます。
高速通信	4Gや5G回線による高速なデータ通信のことです。契約プランごとに毎月使える高速通信容量が定められており、その範囲内では快適な速度でインターネットが利用できます。
低速モード（低速通信）	データ容量を使い切った後などに適用される低速の通信状態です。通信速度が大幅に制限されますが、一定の低速通信なら追加料金なしで使い続けられるサービスもあります ¹⁹ 。MVNOによってはアプリで高速通信と低速通信を切り替えてデータ消費を節約できます。
速度制限（通信制限）	月間データ容量の上限を超えた際などに通信速度が落とされることです。速度制限がかかると128kbps程度に低下し、メールやテキスト中心の利用以外は困難になります。

用語	説明
データチャージ (追加データ購入)	月間データ容量を使い切った際に、追加で高速データ通信容量を購入することです。1GBあたり〇円といった単位でチャージでき、チャージした分だけ高速通信を復活できます。
無制限プラン	データ通信量に上限がない料金プランです。月間の容量制限を気にせず使えますが、一定以上使うと速度が制限されたりする「実質無制限」の場合もあります。完全無制限プランは楽天モバイルなど一部で提供されています。
3G	第3世代移動通信システムの略称で、かつて主流だった携帯電話通信方式です。通信速度は数Mbps程度で、現在は多くのキャリアで順次停波（サービス終了）しています。
4G (LTE)	第4世代移動通信システムで、現在主流の高速通信方式です。LTEとも呼ばれ、下り最大数百Mbps規模の速さでデータ通信が可能で、スマホでのインターネット利用を快適にしました。
5G	第5世代移動通信システムです。4Gよりさらに高速・大容量で、多数の機器を同時接続しても安定した通信ができます。日本では2020年頃からサービス開始されました。
VoLTE	Voice over LTEの略で、4G回線を使って高音質な通話を実現する技術です。3G時代の通話と比べてクリアな音質で会話でき、通話中も高速データ通信が可能になります ²⁰ 。
APN (アクセス ポイント名)	スマホが通信会社のネットワークでインターネットに接続するための設定情報です ²¹ 。MVNOのSIMでは端末にAPNを手動設定する必要がある場合があります。
圏外	携帯電話の電波が届かない状態です。ビル地下や山間部などで圏外になると、通話や通信ができません。電波状態はスマホ画面のアンテナ表示で確認できます。
IMEI (端末識別 番号)	スマホ固有の製造番号 (15桁程度の番号) です。通信ネットワーク上で端末を識別するためのもので、盗難や紛失時にはこの番号で利用制限をかけることができます。
SIM PINコード	SIMカードに設定できる4桁の暗証番号です。第三者による不正利用を防ぐ目的で使用し、端末起動時にPINコードの入力を要求する設定も可能です。入力を3回間違えるとロックがかかります。

